

おのうら
小野浦とは？

広島県呉市豊浜町、豊島にある集落（地区）の名前です。小さな漁師町ですが、1958年にはなんと3953人が住んでいました。現在は約750人と減ってしまいましたが、家の密集度はその歴史を物語っています。

漁師が多く住んでいるこの地区は、玄関にアワビの殻が飾ってあったり、畑の肥料に海草を撒いていたり、島ならではの風景を見ることができます。

小さな島のため坂が多いですが、高台からの眺めは美しく、季節や天気によって変わる海の色は、何度も訪れてご覧いただきたい島の魅力です。



▲青い空と海に映える、銀色の豊浜大橋。



▲麓（いらか）越しに見える美しい島影。

豊浜町へのアクセス

- ・広島市中心部から車で約90分
- ・広島空港から車で約85分
- ・JR呉線 広駅前からバスで約60分



マップ掲載エリア

豊浜町は、豊島・斎島・尾久比島全域と、大崎下島・三角島の一部からなり、小野浦地区は豊島の東側にあります。

発行日：2017年3月，2026年3月改訂

発行：豊浜町まちづくり協議会 ワーキンググループ

広島県呉市豊浜町大字豊島3526-15（豊浜支所内） / TEL 0823-68-2211

小野浦のあれこれ

小さな家が密集していてレトロで魅力的な路地がいっぱい。ふらふらと歩いていると、必ずと言っていいほど野良猫に出会います。猫を追って迷路をさまようのも、また一興。島の暮らしをすこし、覗いてみませんか？

路地

「これ以上入ったら私有地なのでは？」という細～い隙間も、ここではれっきとした道です。豊島の人でも迷うことがあるというほどなので、道が分からなくなってしまったら坂を下って海が見えるほうへ出るとよいでしょう。



①



古モノ好きにはたまらない、レトロなものもたくさん



道案内しましょうか？



④

猫とあしあと

コンクリートの地面に時々見られる猫のあしあとは、猫が多い小野浦ならではのほほえましい光景。中には犬らしきあしあとも…？マップではあしあとを猫とよく出会う場所を🐾で示しています。

コンクリート塗りたてなんて関係ないニャン！



船板の家

解体した船の材木を外壁に使用している家。木造建築が多く残る豊島ですが、中でも趣のある建物です。

井戸



もう使っていないものから、まだまだ現役のものまで！形や大きさもさまざまで、淡水源の少ない島では湧き水が出る場所は神聖なものとされ、小さな石碑が置かれているところもあります。

ときどき金魚もいます



⑤



⑥

祠とお地蔵さま

お地蔵さまや小さな祠がたくさんあります。火事や水難が多かった場所だとか、大漁や安全祈願など、色々ないわれがあるようですが、今では分からないものがほとんどだそう。それでもお供えものや手入れがしており、地域の神仏を大切にしている気持ちが伝わってきます。



⑦



⑧

豊島温泉（銭湯跡地）



昔は銭湯が2つあった豊島。現在はどちらも廃業してしまいましたが、1つはまだそのまま残っています。入り口には大きな岩のベンチがあり、町民の憩いの場になっています。



カラフルな家

壁は黄色、窓枠は青…。こんなカラフルな家、見たことない！？お店か何かと思いきや、普通のおうちです。

Shimau.

広島市から豊浜町に移住してきたイラストレーター・やきもの作家、おりでせさんのアトリエ兼ショップ。イラスト原画やうつわ、雑貨など自身の手仕事作品を販売されています。海の生き物や島の情景などをモチーフにした作品も多く、島らしいお土産選びにもおすすめです。

